［標準様式例７－３］

随意契約結果及び契約の内容

業　務　の　名　称	最上川上流管内河川監理合理化検討業務
業　務　概　要	・計画準備　１式 ・河川の状態把握　１式 ・堤防等河川管理施設等の二次評価（案）・総合的な評価（案）　１式 ・モニタリング計画案の更新及び検討　１式 ・河川管理、出水対応資料とりまとめ　１式 ・対策工法の検討等　１式 ・河川台帳等精査及び補完・調製　１式 ・出水時等対応　１式 ・報告書作成　１式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官東北地方整備局 山形河川国道事務所長　橋本　裕樹 山形県山形市成沢西四丁目３－５５
契　約　年　月　日	令和5年4月7日
契　約　業　者　名	パシフィックコンサルタンツ（株）　山形事務所
契　約　業　者　の　住　所	山形県鶴岡市新海町１７番６８号
契　約　金　額	29,810,000円（税込み）
予　定　価　格	29,898,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙契約理由書のとおり
業　務　場　所	山形河川国道事務所　管内
業　種　区　分	土木関係建設コンサルタント業務
履　行　期　間　（　自　）	令和5年4月8日
履　行　期　間　（　至　）	令和6年3月25日
備　考	入札情報サービス（PPI）（http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx)にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契　約　理　由　書

業　　務　　名：　最上川上流管内河川監理合理化検討業務

契約の相手方：　パシフィックコンサルタンツ株式会社

住所：山形県鶴岡市新海町１７番６８号

電話：0235-64-8200

契　約　理　由：

本業務は、河川の維持管理を適切かつ適正に遂行するとともに河川監理を合理的に実施することを目的として、堤防等河川管理施設及び河道の点検結果等の状況把握結果をもとに、変状等の評価及び変状等が進行する可能性や河川管理に与える影響等について検討し、河川が有すべき治水上の機能確保に必要な河川管理施設監理（案）の作成及び河川監理員業務補助等を行うものである。

本業務の履行に当たっては、最上川上流管内で抱える河川管理の課題を熟知し、高度な情報収集力や分析力等を有するとともに、河川管理施設のモニタリングや対策工法等を検討するための幅広い提案能力を持つ等、高度な知識と豊かな経験が必要不可欠であることから、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式にて技術提案を求めたところである。

技術提案は、パシフィックコンサルタンツ株式会社から提出され、提案内容を審査・評価したところ、参加表明者・予定管理技術者の実績・経験及び能力に関する必要条件を満足しているほか、最上川上流の課題を把握した上で変状の重み付けや点検精度の向上のほか、ＤＸ技術活用を行うなど、的確な提案がなされており、本業務を履行するに十分な技術力と能力が認められたことから、山形河川国道事務所建設コンサルタント選定委員会において、特定されたものである。

以上から、会計法第29条の3第4項並びに予決令第102条の4第3号の規定に基づき、上記企業と契約を締結するものである。